

花づくりからまちづくり

「花美好」の会々

今回は、羽津地区にある垂坂公園・羽津山緑地を中心に花づくり活動を行っている「花美好（はなみずぎ）」の会をご紹介します。会員の田中逸夫さん、藤川美智子さん、山田克子さんにお話を伺いました。

——この会を始められたきっかけは何ですか。

3年前に羽津地区市民センターで花づくり講座があり、種のまき方や花の育て方などを教わったのですが、その講座が終了した後、受講生の中で「この講座で学んだ知識を少しでも地域のために役立てよう」という声が起こってきました。その時期にちょうど



地域の小学生と行った種まき

垂坂公園・羽津山緑地の「子供の広場」が完成したので、この会を結成し、そこにある花壇を自分たちで維持・管理しようということになりました。現在会員は30人ほどです。

——普段はどのような活動がされているのですか。

「子供の広場」の花壇には1年に二回、花の植え込みを行います。春にはマリーゴールドやサルビアなど、秋にはパンジーなどを植え込み、大切に育てています。毎日4〜5人の会員が当番制で水やりに来ています。

——近々、大きな計画があるそうですね。

特に今秋に植え込むパンジーの種まきは、地域の小学生と一緒に行いました。

11月1日〜5日に県内で開催される「まなびピア三重2000」の一環として、近鉄霞ヶ浦駅から四日市ドームまでの約六〇〇mの歩道をサルビア、マリーゴールド、コスモスなどの花で埋め尽くす「花街道物語」という事業を企画しています。ここでは地域の保育園児や幼稚園児、小学生が描いた絵画も展示する予定です。ぜひみなさんにお越しいただきたいと思っています。

また、植え込みの後、残った苗は、原価以下の値段で販売もしています。そうすることで、私たちのまちを花でいっぱいになればと思っています。

——花づくりを通じて、より

大きな活動に発展しつつあると伺いましたが。

はい。初めは花づくりだけを考えていたのですが、今では垂坂公園・羽津山緑地全体の清掃などを行い、この緑地を地域の交流の場として活用していきたいと考えています。将来的には、さまざまなイベントなどを行い、異世代交流や青少年の健全育成に貢献できればと思っています。

——花づくりを通じて、より

先：市民生活課市民活動係 NPO担当 ☎54・8117へ。



短歌

戸川晴子選

不景気を吹き飛ばすごとく大
花火何千発が海に消えゆく

滝川町 角屋さわ

同じ日に生れし夫婦にて同じ
日に逝かむと云いし母残さ
れて 西坂部町 木ノ下明美

街中に里の童の集うこと千日
紅が輝きて咲く

北町 佐脇昭子

苦も楽も涙も分かち連れ添ひ
て早や金婚の式を迎ふる

桜町 加藤庄一郎

家族の箸自家製に揃えすがす
がし麵の夕餉の一層涼し

桜町 森田棟春

故郷の山河かはらし曼珠沙華
尾平町 富田富美子

手花火消ゆ間に少女の顔残し
高花平一丁目 小川つた子

黙禱の人の涙に蝉時雨
三栄町 長谷川和子

踊りの輪いびつになりて回り
をり 桜台一丁目 中尾久子

川柳

保地桂水選

幼な児の髪に素直でいるブラ
シ 松原町 毛利初子

投網打つ川原の土手に赤とん
ぼ 北町 小津みや子

どん底で電話のベルの鳴るこ
わさ 諏訪町 三林まり子

生きている実感悩みあればこ
そ 高花平四丁目 山本美智子

永遠の友の出逢いは花の薫
笹川八丁目 前澤和子

俳句

西條真智生選

美女案山子襦袢を纏ひて田に
立てり 羽津町 小井喜世美

